

令和2年4月27日

インターハイ中止をうけて

(公財) 全国高等学校体育連盟テニス専門部

部長 石原弘也

既にご存じのこととは思いますが、4月26日に臨時の全国高体連理事会が開催され、令和2年度全国高等学校総合体育大会（以後 インターハイ）の全競技と総合開会式の中止が発表されました。

2月に第42回全国選抜高校テニス大会が中止にされて以降、この夏の滋賀インターハイに向け、高校生活の全てをかけ部活動に頑張り取り組んできた選手や監督、関係者のことを思うと、悔しくて残念でたまりません。全国高体連や滋賀県実行委員会と開催に向け努力してまいりましたが、14,000人を超える新型コロナウイルス感染者、400人に届こうかという死者数、また、緊急事態宣言発令で外出も自粛となり、高等学校では5月末まで休校する都道府県が多い中で、「競技よりも優先すべきことがある」との観点から、選手や監督、また大会役員や補助員、関係者の生命の安全や健康を考え中止になったと理解しました。また、今まで学校へ通いテニスができる環境が当たり前だと思っていたが、このような状況下では、これまでの生活がいかに恵まれていたか、また、平和であったかを身をもって感じます。全国の高校テニス部部員の皆さんには、是非ともこの逆境を乗り越え、これからの成長の糧となるよう、前向きに行動していただきたいと思います。

3年生の選手にとっては最後の夏がこういう形になってしまいましたが、目標に向かって頑張ってきたこと、仲間や顧問の先生方との絆など、今まで学んだことや経験を生かし、是非、次のステージへつなげてほしいものです。大学等への進学後や就職してからも、是非ともテニスに携わり続けてください。我々全国高体連テニス専門部は、皆さんの思いを必ずや次につなげていくことを約束します。

顧問の先生や保護者の方々、テニス関係者におかれましても、かける言葉も見つかりません。学校が再開した日や選手に会った時には、彼らの目を見てそれぞれの言葉で声をかけてやっていただきますようお願いいたします。

また、全国委員の先生方には、昨日全国高体連から通知のあった文書の「4の(3)」にもあるように、安全に部活動が実施できるようになった後、各都道府県の実情を踏まえ部活動の成果の発表の場が設定できないか検討していただければ幸いです。何卒よろしく申し上げます。

最後になりましたが、東京オリンピック開催に伴う分散開催のため、テニス競技の開催に向けてご努力いただいた滋賀県実行委員会の皆様を始め、関係の方々には心より感謝申し上げます。

今後とも全国高体連テニス専門部の活動にご理解とご支援よろしく申し上げます。